

コロナ禍 地域経済への支援に明暗

地域経済を下支えする政治の役割とは…

新型コロナウイルス感染症における地域経済対策（各市独自施策の比較）

	人口 (定住人口・ R3年4月)	R2年度 歳入決算額	市内 事業所数 ※	R3.3時点の 取り組み	R3.9時点の		事業所1社当り の取り組み (A+B/1社)	
					うち、融資以外 の取り組み (A)	うち、融資以外 の取り組み (B)		
流山市	20万2093人	972億9854万円	3,936	6億 700万円	1億 1850万円	4億 4606万円	3870万円	3万 9939円
柏市	43万4734人	1879億6106万円	12,017	33億 6154万円	21億 993万円	20億 6558万円	6億 7134万円	23万 1445円
松戸市	49万7830人	2193億2587万円	4,804	14億 5589万円	12億 7589万円	13億 2768万円	11億 5174万円	50万 5335円
野田市	15万2426人	736億6995万円	12,698	8億 9851万円	6億 7000万円	7億 8976万円	5億 6549万円	9万 7298円

※H28年度総務省経済センサス活動調査より（公務を除く全民営事業所数）

コロナ感染症は緊急事態宣言が解除されたものの、地域経済の厳しさは変わっていません。市の議会答弁から近隣市の経済対策を比較し、地域経済対策の強化を日本共産党は提案しています。

流山市の支援、1事業者たった4万円弱

流山市では、日本共産党市議団が提案・実現したたテイクアウト支援などが実施されるも、総額では今年3月時点で6億円、9月時点で約4億5千万円を追加した約10億5千万円（R2年度決算額の1%弱）程度です。

いっぽう近隣市では、経営や資本の実態に即し支援を実施。松戸市で26億円超、柏市で28億円弱です。事業者1社あたりの支援額では、松戸市の50万円に対し、流山市はたった4万円弱でした。



日本共産党 流山市議会議員

小田桐たかし

「保健所を設置して」「虐待対応の充実」…それよりも観光の起爆剤？

白みりんミュージアム！？建設

12月議会に「基金条例」を提案（市長）

11月25日から始まる流山市議会に、「白みりんミュージアム」計画が発表されます。

内容は、「本市の観光資源「白みりん」をテーマとした体験型施設」で、令和6（2024）年の開館（予定）に向け、今年度基本計画を策定し、22年度に設計、23年度に建設します。

建設場所は「流山キックコーマン工場の敷地内（予定・流山本町）」とし、建設費は約4億円を想定。財源は、おおよそ市費1億円に加え、国費補助金2億円、企業版ふるさと納税で1億円としています。

市内でお店を営む方からは、「コロナに加え、電気代やガソリン代が高騰し、大変です。白みりんミュージアムって何？必要なの？」との声ももれ、医療現場からは「民間に頼りっぱなしではなく、市民の命をどう守るのか、市として方針や計画を持ってほしい」

「コロナ禍でも現場に顔も見せなかつた市長は、白みりんミュージアムの前に、もしくはそれと同時に、医療体制の整備に本気になってほしい」と怒りを込めて話しています。

基金条例の議案は、12月8日市民経済委員会で審査を予定しています。

観光会社へ公費投入

昨年8月26日、官民共同で「株式会社流山ツーリズムデザイン」が設立。市は、2500万円（資本金の50.66%）の出資に加え、一茶双樹記念館や杜のアトリイ黎明の指定管理、万華鏡ギャラリー見世蔵の運営業務など「委託費」として年間3242万円を公費投入（R3年から毎年）します。

市民・市職員の願いは…

11月13・14日、市議会が開催した「議会報告会」では、「市内の保健所設置」を求める市民の声が聞かれています。また、担当ケースワーカー一人当たり200件を超える虐待・DV相談が寄せられる中、担当部長は「虐待対応が喫緊の課題。人員の増員が必要」と議会で答弁しています。

その他、クリーンセンター焼却炉の長寿命化工事、23年度末までに児童発達支援センターの増設、24年度、南流山中学校の移転、

（仮称）南流山第2小学校と（仮称）市野谷小学校の開校、消防本部の移転、初石駅舎改良等に加え、執務スペースが狭隘な保健センターの改善や老朽校舎の改築着手が待たれています。

さらに、流山市、野田市、我孫子市を管轄する県営児童相談所の移転・新築も早急な着手が求められています。

山積する行政課題よりも観光の起爆剤作り…立ち止まって考えるべきではないでしょうか。